

実施報告

# 寿都町立寿都小学校

\* 学級数 7 \* 児童数 86

支援員勤務学校名	職名	氏名	専門分野
北海道寿都高等学校	教諭	上澤田 光 一	化学

## 【本事業のねらい】

小学校第5学年「物の溶け方」の単元における「食塩が水に溶けたのは、なくなったのではなく、目に見えないくらい小さな粒になって水に溶けていること」、小学校第6学年「水溶液の性質」の単元における「水溶液は酸性、アルカリ性、中性の三つの性質に分けられること」、第4学年「人の体のつくりと運動」について、児童が観察・実験等の具体的な体験を通して理解をするための、教員の指導力の向上を目的に実施した。

## 【実施内容】

2月5日 14:40～16:40、寿都小学校理科室において、12名の教員を対象に、小学校第5学年「物の溶け方」の単元目標と学習内容、指導上の留意事項を確認した後、傘袋を利用した「シュリーレン現象」を確認する実験や「人の体のつくりと運動」についての実験等を行った。



## 【本事業での主な参加者の声】（アンケート記述から一部抜粋）

- ・傘袋を使った実験は溶けていく様子がよく分かりました。子どもたちも興味をもって取り組める実践だと思いました。
- ・実際に実験方法を教えていただき、興味深く学ばせていただきました。実験上、直面する悩みを解消するアイデアをたくさん知ることができて非常にためになりました。
- ・「見てすぐ分かる」、「発見できておもしろい」という気持ちをもつことができる実験でした。注意事項や実験する上でのポイントも教えていただき、とても勉強になりました。
- ・塩化アンモニウムを使った実験は、理科が苦手な子どもも、楽しいと思えると感じました。
- ・手羽先の解剖は、筋肉と腱と靭帯の動きや様子を一目で確かめることができ、とてもおもしろかったです。
- ・「人の体のつくりと運動」を指導する際、今回のような教材を用意すると、子どもたちも興味をもって、自主的に活動できると分かりました。

## 【来年度以降の実施に向けて】

今回は、化学と生物の分野の研修を行った。次回は、3番目に希望が多かった地学分野の「流れる水のはたらき」、「土地のつくりと変化」の研修を行いたいと考えている。